

フィッシング対策協議会の活動内容

フィッシング対策協議会 (JPCERT/CC)
2015年10月7日 山本健太郎

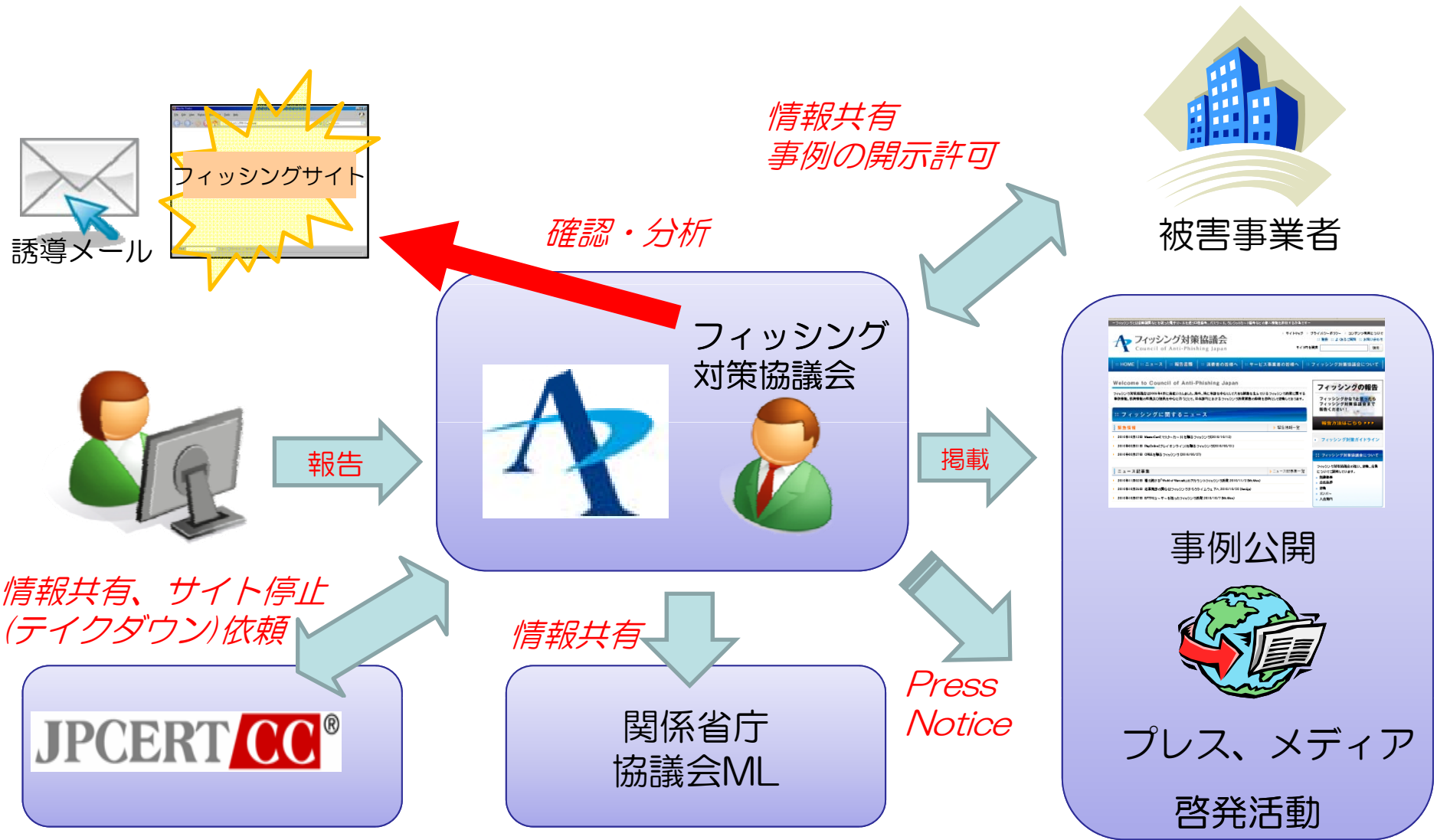


フィッシング対策協議会の組織概要



- 設立
 - 2005年4月
- 名称
 - フィッシング対策協議会 / Council of Anti-Phishing Japan
- 会員
 - 金融機関、信販会社、オンラインサービス、セキュリティベンダーなど
82組織が加盟 (2015年10月現在)
- 会長 山口 英
- 運営委員長 加藤 孝浩
- 事務局 JPCERTコーディネーションセンター
- 目的
 - フィッシングの攻撃対象となり得る事業者又はその団体や、防御手段を提供し得る事業者などにより構成される「フィッシング対策協議会」を運営し、フィッシングに関する情報収集・提供、動向分析、技術面の検討などを行う

フィッシング対策協議会の活動イメージ



フィッシング対策協議会の活動(その他)

- ① フィッシング対策セミナーの開催(1回/年)
- ② WGの開催(4回/年)
- ③ フィッシング対策ガイドライン実践セミナー(1回/年)
- ④ 情報共有会の実施(2回/年)



フィッシング対策セミナーの様子



ガイドライン実践セミナーの様子

フィッシング対策セミナー2015 開催

フィッシング対策セミナー 2015

開催日程：2015年11月20日(金) 13:00 - 18:00 (受付開始：12:15～)

会場：大崎ブライトコア(JR 大崎駅 新東口)

〒141-0001 東京都品川区北品川5丁目5番15号 大崎ブライトコア3階

題目：「インターネットバンキングに係る不正送金事犯被害の実態と防止策」

講演者：警察庁 生活安全局 情報技術犯罪対策課 警視 小竹 一則氏

題目：「SMS を利用したフィッシング (不正送金)」

講演者：株式会社ジャパンネット銀行 IT統括部サイバーセキュリティ対策室長 岩本 俊二氏

題目：「サイバー空間の安全習慣は「立ち止まる 考える 楽しむ」～ STC 普及啓発 WG の活動紹介～」

講演者：STC 普及啓発ワーキンググループ 副主査 林 憲明氏

題目：「仮) 2015 年のサイバー犯罪動向の解説」

講演者：EMCジャパン株式会社 RSA事業本部事業推進部 花村 実氏

題目：「仮) 金融機関におけるサイバー攻撃対応について」

講演者：みずほフィナンシャルグループ データマネジメント部 調査役 貞広 憲一氏

題目：「フィッシングの現状と対策 2015」

講演者：フィッシング対策協議会 (JPCERT/CC) 駒場 一民氏



■ フィッシング詐欺対策 5ヶ条マンガ作成

1. パソコンやモバイル端末を安全に保ちましょう
2. 不審なメールに注意しましょう
3. 電子メールにあるリンクはクリックしないようにしましょう
4. 不審なメールやサイトは報告しましょう
5. 銀行やクレジットカード会社の連絡先リストを作りましょう

■ 参考URL

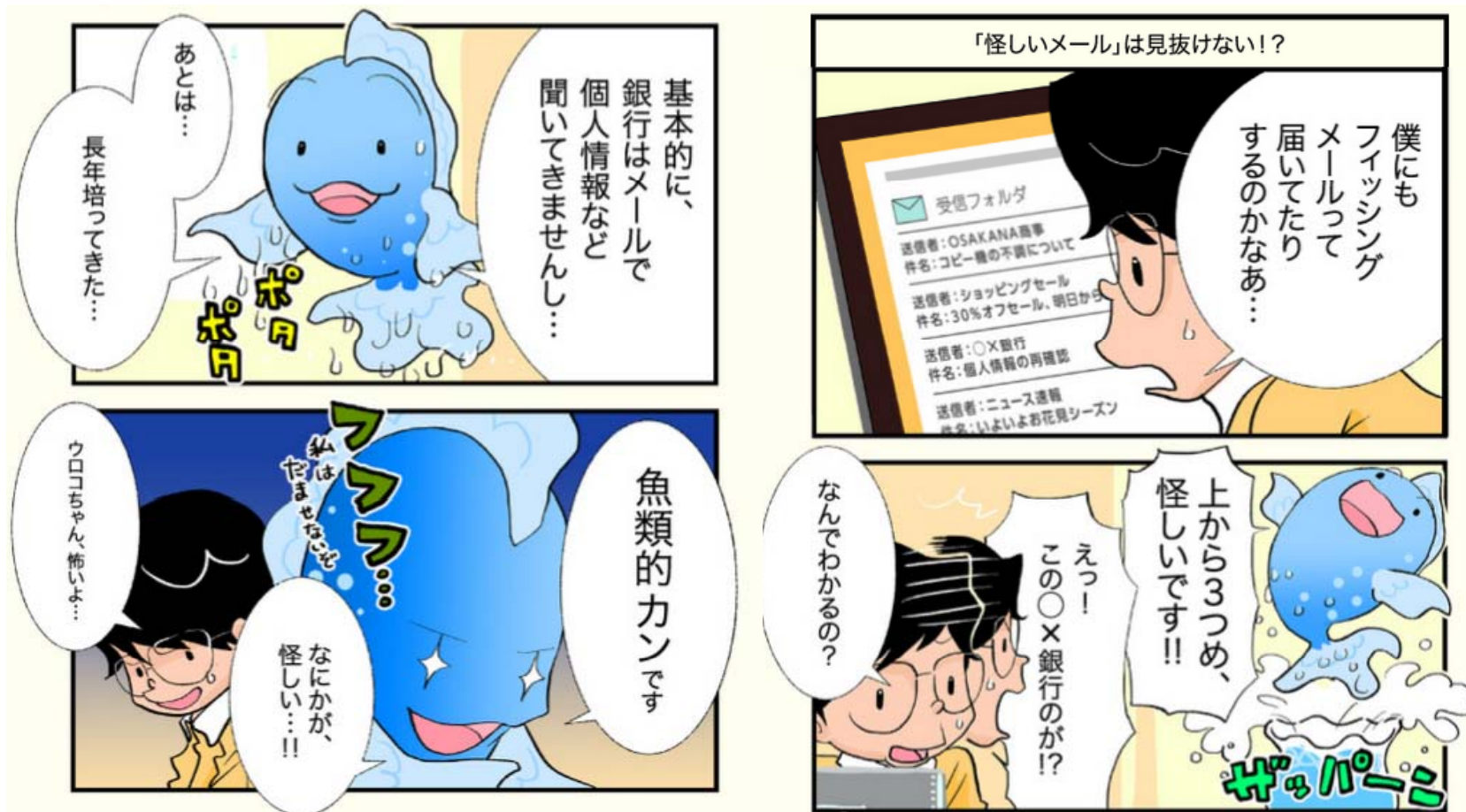
https://www.antiphishing.jp/stop_phishing/gokajou.html

1.パソコンやモバイル端末を安全に保ちましょう



フィッシングやスパムメール対策のソフトウェアを使えば、危険なサイトにアクセスしたり、怪しいメールを受け取ったときに警告が表示されます。またインターネットブラウザには、最新の修正プログラムを導入しましょう。

2.不審なメールに注意しましょう



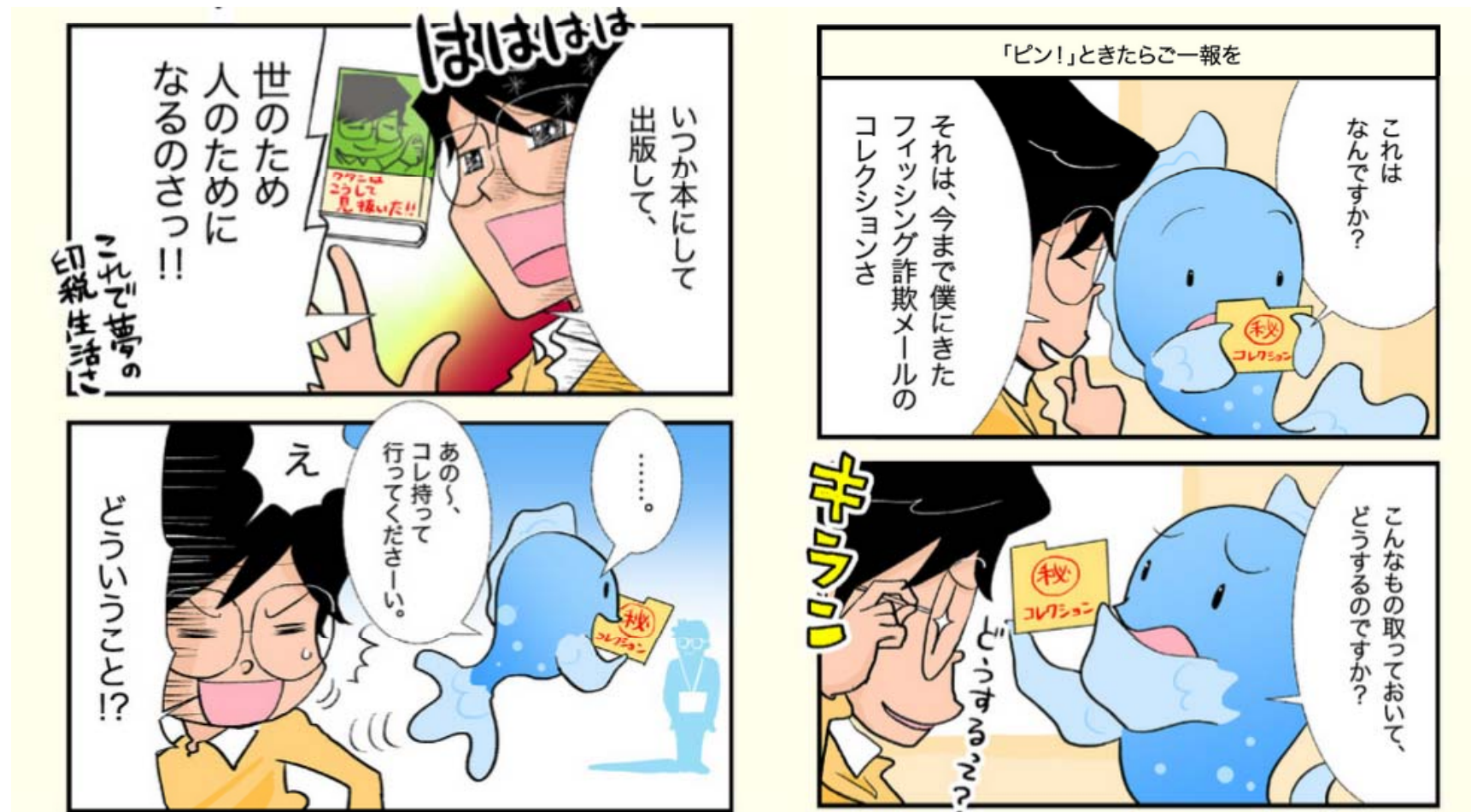
銀行やクレジットカード会社がメールでお客さまの口座番号やクレジット番号、IDやパスワードを確認することはありませんので、このような問いかけのメールには注意してください。

3.電子メールにあるリンクはクリックしないようにしましょう



メール本文中のリンクはフィッシングサイトに誘導される危険がありますので、URLを直接入力してサイトを開きましょう。

4.不審なメールやサイトは報告しましょう



本物でないと思われるメールを受け取ったり、フィッシングサイトを発見したら「フィッシング対策協議会」に報告を。

5.銀行やクレジットカード会社の連絡先リストを作しましょう



怪しいメールやフィッシングサイトを見つけた際に問い合わせる電話番号や、メールアドレスを控えておきましょう。少しでもおかしいな・・・と思ったらすぐに連絡して確認すれば安心です。

フィッシングサイトURLの提供

- 目的
 - ウェブブラウザ (ツールバー含む) やウイルス対策ソフトなどのフィッシング対策機能にフィッシングサイトの URL を実装することで、フィッシングサイトが停止するまでの期間のユーザーリスクを低減すること

- 提供開始日

- 2010年1月

- 提供先 (22社) 2015年10月 現在

WEBROOT

NTTレゾナント

CASYSOLUTIONS

paloalto NETWORKS

EMC²

YAHOO! JAPAN

CISCO

DELL



TREND MICRO

NetMove

CORPORATION

Gateway to the Future

NTT Communications

KASPERSKY

Canon キヤノン ITソリューションズ株式会社

SecureBrain



NetSTAR



SOURCENEXT



McAfee

Ahn AhnLab

ALSI

DigitalArts



KINGSOFT

STOP. THINK. CONNECTの普及啓発



■ 「STOP.THINK.CONNECT.」

- 安全にウェブサイトへのアクセスするため、APWGとNCSA(National Cyber Security Alliance) が共同で行っている活動
- サイバー犯罪の被害を防ぐには利用者への普及啓発が重要と考え、同様の取組を行っているNCSAと共同で全世界へメッセージを届けている



- STOP（立ち止まって理解する）
 - インターネットは便利ですが、一般社会と同様、そこには危険もあります。どのような危険があるかを知り、解決策をどのように見つけるかについて、一旦、立ち止まって調べましょう。
- THINK（何が起こるか考える）
 - 様々な警告の見極め方を知る必要があります。警告を確認したら、これから取ろうとする行動がコンピュータやあなた自身の安全を脅かさないか考えましょう。
- CONNECT（安心してインターネットを楽しむ）
 - 危険を理解し、十分な対策をとれば、インターネットをより信頼できるようになるでしょう。

STOP. THINK. CONNECT (日本版サイト公開)

■ 「STOP.THINK.CONNECT.」の日本版サイトを公開しました。

- フィッシング対策協議会 STC 普及啓発ワーキンググループ は2014年12月3日に STOP. THINK. CONNECT. Messaging Convention Inc. との国際活動パートナープログラムに基づき、サイバーセキュリティ認知向上メッセージ キャンペーンの促進を図るため日本版「STOP. THINK. CONNECT.」ウェブサイトを開きました。
- STC 普及啓発 WG について
STC 普及啓発 WG とは、フィッシング対策協議会に参加する、情報セキュリティ対策事業者、銀行、クレジットカード会社、ショッピングサイト事業者など様々なメンバーによって、日本国内のサイバー犯罪防止のための対策や啓発活動を行う団体となります。日本国内において全世界共通の「STOP. THINK. CONNECT.」の啓発メッセージ普及を目指しています。

STOP | THINK | CONNECT

HOME 学習資料 キャンペーン 活動への参加紹介 ヒントとアドバイス 研究と調査 ブログ 運営団体について

ひとりひとりが気をつけて、
インターネットを安全に使いましょう。

STOP. THINK. CONNECT.

歩行者が横断歩道を渡る際には、まず左右の安全確認です。インターネットを安心して利用するための習慣はこれと似ています。インターネットを安心して利用するための3つのステップを確認しましょう。

STOP(立ち止まって理解する): インターネットは便利ですが、一般社会と同様、そこには危険もあります。どのような危険があるかを知り、解決策をどのように見つけるかについて、一旦、立ち止まって調べましょう。

THINK(何が起るか考える): 様々な警告の見極め方を知る必要があります。警告を確認したら、これから取るうとする行動がコンピュータやあなた自身の安全を脅かさないか考えましょう。

CONNECT(安心してインターネットを楽しむ): 危険を理解し、十分な対策をとれば、インターネットをより信頼できるようになります。

あなた自身の身を守ることが、みんなのインターネットをより安全な空間に保つ手助けとなります。

世界的なフィッシング対策ワーキンググループ「Anti-Phishing Working Group (APWG)」とアメリカ合衆国のNational Cyber Security Alliance (NCSA) は2009年に「STOP. THINK. CONNECT.」キャンペーンを開始しました。現在この活動は、米政府機関をはじめ、官民の複合団体によって、全世界共通のサイバーセキュリティ啓発キャンペーンとして活動の輪が広がっています。

96% のアメリカ人はより安全でセキュアなサイバー空間の権利は自己に責任があると感じています。

MORE FACTS

Get Involved!

「STOP. THINK. CONNECT.」キャンペーンに参加するのは簡単です。私たちは多くの方に賛同いただける活動を目指して取り組んでおります。

GET STARTED

TIP OF THE WEEK

信頼できるウェブサイトで最新のセキュリティ情報を身につけたら、友達、家族や同僚にも伝えてあげて、皆でインターネットを安全に使っていきましょう。

BLOGS

情報セキュリティ・ブログ | 株式会社日立ソリューションズ
全銀協ニュース | 一般社団法人全国銀行協会
サイバー犯罪対策情報サイト「オンライ

<http://stopthinkconnect.jp/>

ありがとうございました。

■ お問い合わせ/サイト停止のご依頼は

□ フィッシング対策協議会

- Email: info@antiphishing.jp
- Web: <https://www.antiphishing.jp/>
- Twitter: http://twitter.com/antiphishing_jp



フィッシング対策協議会

@antiphishing_jp

フィッシング対策協議会は2005年4月に発足いたしました。海外、特に米国を中心として大きな被害を生んでいるフィッシング詐欺に関する事例情報、技術情報の収集及び提供を中心に行うことで、日本国内におけるフィッシング詐欺被害の抑制を目的として活動しております。

<http://www.antiphishing.jp/>

□ JPCERTコーディネーションセンター

- Email: antiphishing-sec@jpcert.or.jp
- Tel: 03-3518-4600
- Web: <https://www.jpcert.or.jp/>